

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等ディサービス 糸車			
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 10日		～	令和8年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数)	15人
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 10日		～	令和8年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども達の活動スペースを清潔に保っており、スペースを十分に確保された生活空間を作っています。	・活動内容に応じて、生活活動空間を分けています。 ・階段には、戸を付けており子どもの安全を考慮し必要に応じて施錠をしています。	・子ども達にとってよりよい空間を作るために、必要な部分を修繕し、安全に過ごせるようにしていきます。
2	・子ども達の事をより理解するために、職員との打ち合わせや報告を毎日行い、職員同士共有し支援に生かすことが出来るようにしています。	・スーパーバイザーの助言を頂き、正しい姿勢と運動能力を身につけるためのからだ作り、肩、腕を大きく使った活動、道具を使う指先の活動を行っています。 ・集団活動の中で人との関わりを身に着け、社会性を育てる支援を行っています。	・子どもひとりひとりに合った支援、子どもに寄り添った支援を行う。 ・保護者の方と面談を行い、対面で子どもの様子を伝える、要望を聞くことを行っています。
3	・子どもひとりひとりにあった支援を行うことで、保護者の方の満足度と子ども達の安心感を得ていると思います。	・保護者の方より聞きたい・知りたいと思っていることをアンケートで頂き、毎月頂いたテーマで事業所内相談会を行っています。また、保護者の方からの相談や質問には素早い対応を心掛けています。	・事業所内相談会に多くの保護者の方に参加して頂けるために、話す内容がマンネリ化しないように工夫します。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所内でのマニュアル(事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等)や避難訓練等が保護者様へ周知されていない。	・糸車玄関に防犯マニュアルや運営規定などをファイルに入れて掲示してあるが、保護者へ周知できていない。	・HPのインフォメーションや広報等でマニュアルや、研修・訓練等の様子がアップできると良い。 事業説明会や保護者会等で防犯マニュアル・運営規定の周知を行う。
2	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない。	・コロナウイルスやインフルエンザ、その他の感染予防対策で人数が集まる場所への外出を控えていました。今年度、前橋祭りでだんべえ踊りに参加をしました。	・施設行事をひとつずつ再開していく。
3	・ホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を保護者に対して発信をしているが周知されていない。	・月案の中に行事予定や連絡・活動概要を記載し、ホームページにアップしているが、周知されていない。	・ホームページの活用を伝えていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 2026年 3月 10日						
		利用児童数		15人		回収数 15		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14			1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2		1	・1Fから2Fまでの移動が階段なので、気を付けて上り下りをしてほしいです。	・階段には、戸も設置されていて必要に応じて施錠をしています。今後も、安全に務めたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1			・いつも清潔で、我が家も見習いたいです。	
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				・桑の木からお世話になっており、少しの変化でも知らせて頂けて有難いです。	・保護者の方との面談を再開致します。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14			1	・プール再開ということで、よろしくお祈りします。	・感染症の状況を確認しながら、進めていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	1	10	・ばれっと、桑の木などの友だちと少しでも一緒に活動出来る機会があれば、大変ですが楽しいですね。 ・一越会で、他の年代の子たちと活動、関わりを持たせていただいているので、現状で満足をしています。	・昨年は、前橋祭りのだんべえ踊りに参加をしました。今後も地域の活動に参加をする機会を作っていきたいと思えます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14				未回答 1	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15				・相談会等もあり、引き続き支援をお願いしたいです。	・毎月、平日と土曜日にテーマを決めて相談会をしています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15				・職員の皆さんが、優しく接して下さいます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12			3		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1			未回答 1 ・学校、糸車、保護者などで、話し合ってみたくです。	・糸車は、学校が終わってからの活動になる為、難しいですが担当者会議が出来るように時間等を、保護者の方、学校と相談して進めて行きたいと思えます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1			未回答 1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	4		1	未回答 1	・ホームページにて、各部署の月案・自己評価が閲覧できるようになっています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			1	未回答 1	・個人情報の管理は、徹底しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1		1	未回答 1	・糸車玄関に、ファイルが設置しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2		3	未回答 1	・火災時の避難訓練(年2回)水害時・不審者避難訓練(年1回)行っています。保護者の方に周知して頂けるように、月案でお知らせしたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1		1	未回答 1	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2			未回答 1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14				未回答 1	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14				未回答 1 ・月曜日は、糸車がお休みでヘルプをお願いしていますが、楽しみにしているようです。	・糸車も楽しい所と思ってもらえるように、職員一同頑張ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				未回答 1 ・引き続きお願いします。 ・それぞれの子に合わせた声掛け、支援をして頂いているので、大変満足しています。ありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等ディサービス 糸車				公表日	2026年 3月 10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・グループや活動内容により、部屋をわけています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・階段は、階段入り口に戸を設置して、支援によって鍵を施錠しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・着替え等をする時には、ひとりひとり個別に出来るように、部屋をわけています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。			・毎日、会議を行い職員間で、振り返りと情報共有を行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			・玄関にお気づきBOXを設置しています。保護者の方にあまり活用されていないのが今後の課題です。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・児発管と職員で面談を行っています。その中で出た意見や要望は、そのままにせず話し合いを行い業務改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・月1回、外部からの講師の先生を招いて、担当が勉強会に参加をしています。 ・資質の向上のため、研修等を受けていきたいです。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・ホームページにて、公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	4		・計画を作成するにあたり、保護者の希望を書面で頂き計画に反映しています。	・感染症対策で面談が出来ませんでした。今後は、保護者面談にてニーズや課題を話し合っていきたいと考えています。	
	13	放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・アセスメントの作成、会議を行い職員が共通理解の下で本計画を作成しています。		
	14	放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・職員だけでなく、保護者の方にも常に計画を見る事が出来るように、個別記録ファイル(出席ファイル)に貼ってあります。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4				
	16	放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	1	3		・計画に「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の記載が明確でなかったため、改善します。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4				

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			・日案を作成し、担当職員と打ち合わせを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	4			・翌日に会議を行い、気づいた事、支援の内容などを報告し合い、共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			・記録をとり、会議にはスーパーバイザーにも参加して頂き、助言やアドバイスを支援に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4			・子ども合宿、赤城山登山、前橋まつり(だんべえ踊り)などの行事、地域清掃(なかよし公園)などを行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			・支援に必要なことを聞く時には、学校送迎に児発管や担当指導員が連携を持つようになっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			・アプリの「すくーる」を活用しています。（すべての学校ではない）	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			・連絡があった場合、担当していた職員が、話をするようにしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1		・施設長が参加をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		・毎月、「事業所内相談会」を行っています。参加保護者が少ないことが今後の課題です。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			・サインと印を頂いています。	・説明が不十分だったと思います。今後は面談を行いその中で説明をしていきたいと思いをします。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4				

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	2	・保護者同士の交流は、事業所内相談会等で行えています。ひとこしマラソン大会で、きょうだいの方にも参加して頂いています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・「お気づきの点」として用紙の配布、BOXの設置を行っているが、あまり活用されていません。あった場合には、対応を明記したものを保護者の方へ閲覧出来るようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		・月案の配布、行事ごとにスケジュールを配布しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・記録、ノート等、個人情報の記載があるものは、施錠出来る場所にて保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・活動場所の変更が伝えきれない場合があります。事前に伝えることを心がけます。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	・施設公開を行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・マニュアルは、玄関入り口に設置。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・火災、水害避難訓練は、年2回。防犯訓練は、年1回行っています。	・保護者の方に周知して頂けるように、月案に日程等を記載します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・緊急対応マニュアルを作成し、保護者の方と主治医に見て頂いています。作成したマニュアルは、フロア入り口に設置してあります。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・緊急受診情報に基づき対応しています。行事等で食品を用意する場合、アレルギーの有無を再度確認しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・安全衛生委員会にて、法人内で共有しています。再発防止にむけて、各部署で話し合い、対策を検討し再発防止を心掛けています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		・身体拘束をした場合、「時間」「理由」を記入し保護者の方のサインを頂いています。		